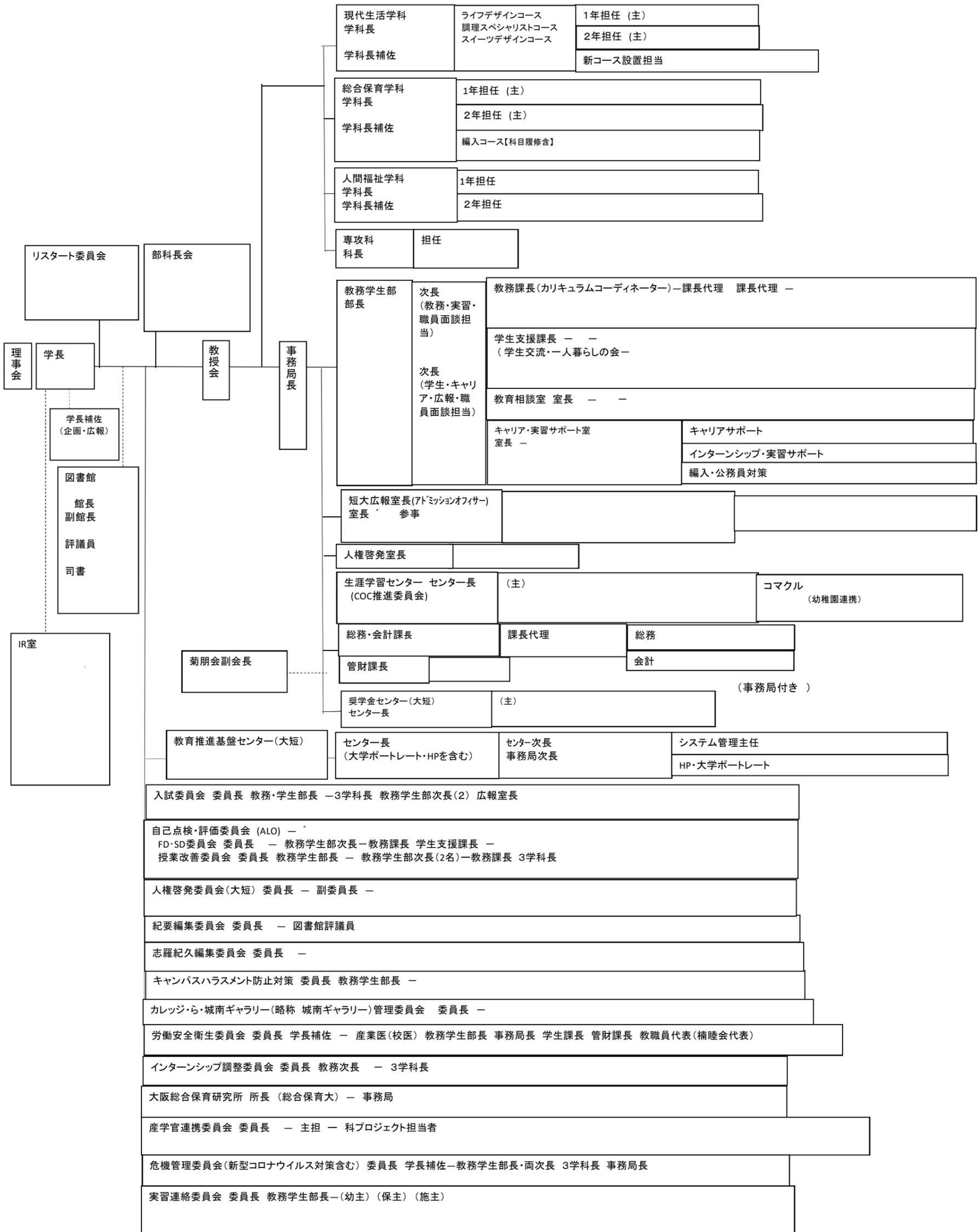


大阪城南女子短期大学 令和2年度校務分掌



専任教員一覽

教授 12名 准教授 9名 講師 8名 計 29名

現代生活学科

西川 仁志	教授	(学長)
山口 禎	教授	(学科長)
中井 康行	教授	
村上 道子	教授	
宮本 弥生	准教授	
中津 功一朗	准教授	
奥田 晶子	准教授	
藤原 是明	准教授	
西田 一巳	講師	

総合保育学科

油井 宏隆	教授	(学科長)
魚住 美智子	教授	
太田 友子	教授	
松浦 満夫	教授	
福井 敬充	教授	
山田 千智	准教授	
芝田 圭一郎	准教授	
大嶋 健吾	准教授	
丸目 満弓	講師	
岡田 和枝	講師	
柴田 精一	講師	
玉川 朝子	講師	

人間福祉学科

前田 崇博	教授	(学科長)
小林 孔	教授	
山本 永人	教授	
宮崎 恭子	准教授	
多田 鈴子	准教授	
緒方 都	講師	
瀬 志保	講師	
長橋 幸恵	講師	

専攻科介護福祉専攻

(多田 鈴子 准教授)

〔 名前 〕 西川 仁志

〔 職位 〕 教授・学長

〔 保有学位 〕 教育学士

〔 担当科目 〕 教育原理 卒業研究

〔 専門分野 〕 教育学 教育行政・学校経営・就学前教育論

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員

「令和2年度東住吉区人権啓発推進事業」事業者選定会議審査委員

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・ 全国保育士養成協議会第51回研究大会共同発表
「保育・教育実習の現状についての日韓比較—ボーダーレス時代の日韓連携専門職養成プログラムの構築に向けて—」
- ・ 大阪城南女子短期大学研究紀要 第46巻「韓国・青巖大学との包括的連携協力における日韓保育幼児教育の比較研究」（共同研究）
- ・ 大阪城南女子短期大学研究紀要 第47巻「リュウ・ユンソク韓国における幼児教育の養成校の課題」（共同研究）
- ・ 大阪城南女子短期大学研究紀要 第49巻「歴史から何を学ぶか—J.コルチャックとH.アーレントをめぐる大学教育において—」（共同研究）
- ・ 大阪城南女子短期大学研究紀要 第50巻「大阪城南女子短期大学は新たなステージに—開学50周年を迎えて—」
- ・ 「学ぶ意欲」をキーワードに授業をつくる（大阪府教育センター 平成19年）
- ・ 大阪府教育センター研究フォーラム講演
「これからの子育て支援—保育者の役割 合言葉は『愛たかく』—」（平成22年）
- ・ 北京人民大学講演「日本の教育—初等・中等教育について—」（平成29年）

- 〔 名前 〕 山口 禎
- 〔 職位 〕 学長補佐
現代生活学科 学科長
教授
- 〔 保有学位 〕 体育学士
- 〔 担当科目 〕 現代社会論 ビジネス実務総論 体育理論
ビジネス実務演習Ⅰ キャリアデザイン演習
現代生活卒業研究 チームビルディングⅡ 商品開発
まちづくり研究
- 〔 専門分野 〕 体育原理 教育行政 学校経営 中高一貫教育
教職員評価育成 教員採用全般 ラグビー
- 〔 学外活動 〕 令和2年度 東住吉区芸術文化青少年育成事業
業務委託事業者選定会議審査委員
能勢・銀寄 顧問
特定非営利かつどう法人ヒロ教育総合研究所グループ 理事
- 〔 主な教育・研究業績 〕
- 平成10年 大阪高体連50周年誌 ラグビー部 監修
- 2001年12月 全国高等学校ラグビーフットボール大会 80回記念誌 編集
- 平成14年全国農業高等学校校長会 事例発表・紙面発表
「能勢地域における連携型中高一貫教育の取り組み」
- 平成13年14年 大阪府中高一貫教育研究会最終報告 共著・監修
- 平成15年度 大阪府能勢地域における連携型中高一貫教育の取組 共著・監修
- 平成16年度 大阪府能勢地域における連携型中高一貫教育の取組 共著・監修
- 平成17年度 大阪府能勢地域における連携型中高一貫教育の取組 共著・監修
- 平成18年度 大阪府能勢地域における連携型中高一貫教育の取組 共著・監修
- 2003年6月号 No111 ESTRELA
小・中・高一貫教育で地域の活性化をめざして
能勢地域における連携型中高一貫教育の取り組み

平成 15 年近畿地区中高一貫教育推進フォーラム 連携型中高一貫教育事例発表

平成 16 年 8 月

大阪教育大学スクールリーダー・セミナー 学校づくりの思想と技術

—学校評価を軸に— 事例発表

学校づくりの実践—教育づくり・組織づくり能勢地域連携型中高一貫教育の実践

2005 年 8 月 時事通信社 内外教育

「私の学校経営」 地域に信頼される高校への改革

平成 17 年 12 月 週刊教育 PRO 小中高一貫教育のねらいとその実践 紙面発表

平成 18 年 7 月 大阪府産業教育 120 年記念誌 高等学校における農業教育 編集

連載「月刊高校教育」学事出版 連載 小中高一貫教育の可能性

—地域地盤型の高校改革を軸に— 共著・監修

2006. 4 月号 新連載 地域地盤型の小中高一貫教育の構想と実践

2006. 5 月号 第 2 回 生徒の自尊感情を育む高校づくり

2006. 6 月号 第 3 回 学校改革を推進する教師集団づくり

2006. 7 月号 第 4 回 小中高一貫教育の 12 年間を通じたシラバス

2006. 8 月号 第 5 回 小中高一貫の進路指導プログラム

2006. 9 月号 第 6 回 交流活動を通して高まる生徒集団の力

2006. 10 月号 第 7 回 国際理解教育を通して学ぶ人間関係力

2006. 11 月号 第 8 回 小・中・高校とつながる「環境教育」

2006. 12 月号 第 9 回 能勢の特色ある授業の実践①「能勢スペシャル (NS) 授業」

2007. 1 月号 第 10 回 能勢の特色ある授業の実践② 能勢が好きになる総合学習

2007. 2 月号 第 11 回 能勢の特色ある授業の実践③ 地域に密着した家庭科連携

2007. 3 月号 最終回 3 歳になった能勢の一貫教育 自立のために、まだ支えが必要

大阪府教育委員会 研修資料「新校長に贈る」 評価育成システムの活用

平成 21 年度・22 年度

大阪府教育委員会 校長研修・新任校長研修

教頭研修・新任教頭研修

首席研修

企画運営

- 平成 21 年大阪府立高等学校長協会「校長協会 60 周年記念誌」 発表
連携型中高一貫教育 ー能勢高校の取り組みー
- 平成 22 年 7 月 大阪府高等学校長協会による次世代育成の方策 発表・実践
- 平成 23 年 大阪府教育委員会 海外視察 「上海」 報告書 発表
- 平成 23 年 11 月~12 月 週刊教育 PRO 今問う！大阪教育の行方
校長・保護者が「教育基本条例案」を語る ①~②
- 2017 年 アスリートケア ~理学療法士によるスポーツ選手の健康支援~
三輪出版 監修：越智隆弘 大阪警察病院長 編著：アスリートケア

〔 名前 〕 中井 康行

〔 職位 〕 教授 ・ 図書館長

〔 保有学位 〕 文学修士

〔 担当科目 〕 現代生活基礎演習 文芸文化論 小説を読む 日本語表現A・B
現代生活応用演習 現代生活卒業研究

〔 専門分野 〕 日本近代文学

〔 学外活動 〕 日本近代文学会会員 日本文芸学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

・漱石『抗夫』の世界「日本文藝學」第 23 号 昭和 61 年 11 月 5 日 日本文芸学会

・漱石『三四郎』の世界「日本文藝研究」第 41 卷第 3・4 号 平成 2 年 1 月 10 日 関西学院大学日本文学会

・漱石『三四郎』の世界(上)「城南国文」第 12 号 平成 4 年 2 月 20 日 大阪城南女子短期大学国語国文学会

・漱石『三四郎』の世界(下)「城南国文」第 13 号 平成 5 年 2 月 20 日 大阪城南女子短期大学国語国文学会

・森 鷗外歴史小説への一視点 『意地』から『天保物語』へ「城南国文」第 16 号 平成 8 年 2 月 20 日 大阪城南女子短期大学国語国文学会

・夏目漱石『それから』論・序「城南国文」第 20 号 平成 12 年 2 月 20 日大阪城南女子短期大学国語国文学会

・夏目漱石『それから』の世界「城南国文」第 22 号 平成 14 年 6 月 10 日 大阪城南女子短期大学国語国文学会

・『夢十夜』或いは『永日小品』を起点として I「城南国文」第 24・25 号合併号 平成 17 年 7 月 25 日 大阪城南女子短期大学国語国文学会

- ・『夢十夜』或いは『永日小品』を起点として Ⅱ「大阪城南女子短期大学研究紀要」第 41 巻 平成 19 年 2 月 28 日 大阪城南女子短期大学
- ・『夢十夜』或いは『永日小品』を起点として Ⅲ「城南国文」第 26 号 平成 19 年 2 月 28 日 大阪城南女子短期大学国語国文学会
- ・『夢十夜』或いは『永日小品』を起点として Ⅳ「大阪城南女子短期大学研究紀要」第 42 巻 平成 20 年 2 月 28 日 大阪城南女子短期大学
- ・『夢十夜』或いは『永日小品』を起点として Ⅴ「大阪城南女子短期大学研究紀要」第 43 巻 平成 21 年 2 月 28 日 大阪城南女子短期大学
- ・『倫敦の不愉快な漱石 東京の孤独な漱石』平成 23 年 9 月 30 日 双文社出版
- ・夏目漱石 作品の中の食卓 一食べることと書くこととー「大阪城南女子短期大学研究紀要」第 50 巻 平成 27 年 3 月 25 日
- ・「不愉快」「毛布/赤毛布」「相撲」(『漱石辞典』項目)平成 29 年 5 月 24 日 翰林書房

〔 名前 〕 村上 道子

〔 職位 〕 教授

〔 保有学位 〕 家政学士

〔 担当科目 〕 食生活論、調理学、栄養学、食品と栄養の特性、調理理論と食文化概論、食品の官能評価・鑑別論及び演習、現代生活卒業研究、家庭料理、商品開発・販売

〔 専門分野 〕 栄養学

〔 学外活動 〕 日本栄養士会 日本栄養改善学会 日本調理科学会

〔 主な教育・研究業績 〕 日本栄養改善学会（小麦ふすまの調理への利用）
日本栄養改善学会（玄米全粒粉の調理への利用）
梅花短期大学 研究紀要
（女子学生及び両親の食に対する意識調査）
大阪城南女子短期大学 研究紀要
（芭蕉月見饗応膳の再現）
大阪城南女子短期大学 研究紀要
（糖尿病患者のための1単位（80kcal）デザート）

- 〔 名前 〕 宮本 弥生
- 〔 職位 〕 准教授
- 〔 担当科目 〕 基礎調理実習・包丁レッスン・介護食実習・ローカルフーズ実習・料理プレゼンテーション演習・商品開発・調理ハッシュリスト研究
- 〔 専門分野 〕 調理学
- 〔 学外活動 〕 東住吉区食育推進委員
- 〔 研究業績 〕 研究紀要第47巻 「芭蕉月見饗応膳の再現」
研究紀要49巻 「糖尿病患者のための1単位デザート」
やさしくまなぶ高大連携講座「簡単手作りお弁当」
一般財団法人桐山奨学会 食品産業発展支援金「高齢者
のためのお料理レシピ」

- 〔 名前 〕 中津功一朗
- 〔 職位 〕 准教授
- 〔 保有学位 〕 博士（情報学）
- 〔 担当科目 〕 情報デザイン論，情報倫理とメディアリテラシー，情報処理演習，広告コミュニケーション論，コミュニケーション演習
- 〔 専門分野 〕 情報工学，土木工学、防災
- 〔 学外活動 〕 東住吉区区政会議副議長
- 〔 主な教育・研究業績 〕 過去 5 年

【競争的資金】

平成 28～30 年度 JSPS 科研費挑戦的萌芽研究「幼児教育現場における行動解析に着目した防災教育システムの構築」（研究代表者 中津功一朗 研究課題番号 JP16K12696）

【査読論文】

1. 石橋健，古田均，野村泰稔，中津功一朗，高橋亨輔：セルオートマトン PSO を用いた多重モード解析による構造物の信頼性解析，材料，No.3(信頼性工学小特集号)，2015-03，pp.190-195
2. 古田均，中津功一朗，高橋亨輔，石橋健，香川圭明：地域レジリエンスを考慮した道路網の信頼性解析に基づく地震対策の評価，土木学会論文集 F6（安全問題），Vol.70，No.2，2015-02，pp.I_73-I_80
3. 古田均，野村泰稔，中津功一朗，香川圭明，石橋健，内田昌宏：橋梁群のアセットマネジメントにおける予定の変更を考慮した補修計画策定，土木学会論文集 A2（応用力学），Vol.70，No.2（応用力学論文集 Vol.17），2015-02，pp.I_959-I_970
4. 古田均，石橋健，中津功一朗：粒子の自律性と相互作用に基づくセルオートマトン PSO の提案，情報処理学会誌 Vol.55 No.4，pp1378-1388，2014
5. 石橋健，古田均，野村泰稔，中津功一朗，高橋亨輔，メタヒューリスティクスを用いた複数の破壊モードを持つライフラインネットワークの信頼性解析，(Journal of the Society of Materials Science,Japan),Vol.63,No.2,Feb.2014 pp143-pp148
6. 石橋健，古田均，野村泰稔，中津功一朗：例外検出を考慮したパターン認識に基づく橋梁損傷度判定の実用性の向上，土木学会論文集 A2(応用力学)，Vol. 69, No. 2(応用力学論文集 Vol. 16), I_751-I_760，2013

7. 石橋健, 中津功一郎, 古田均, 野村泰稔, 高橋享輔: GA を用いた大規模橋梁群の長期的な維持管理計画の最適化, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol. 69, No. 2(応用力学論文集 Vol. 16), I_731-I_740, 2013

【口頭発表・紀要等】

1. 石橋健, 中津功一郎, 弘田陽介:防災教育におけるバーチャルリアリティ (VR) の利用可能性の検討,日本保育学会第 71 回大会 CD-ROM,2018
2. 中津功一郎, 石橋健: 幼児教育現場の防災意識向上コンテンツに関する基礎研究, 日本保育学会第 71 回大会 CD-ROM,2018
3. 中津 功一郎 , 石橋 健: 自己および他己評価による気付きに着目したキャリア教育に関する研究,大阪城南女子短期大学研究紀要/Bulletin of the Osaka Jonan Women's Junior College,52,1-22 (2018-03-25)
4. 中津功一郎, 弘田陽介:幼児教育現場の防災意識に関する調査研究,日本保育学会第 70 回大会 CD-ROM,2017
5. 中津 功一郎 , 石橋 健: 幼児教育施設の自主防災力向上支援のための基礎的研, 大阪城南女子短期大学研究紀要/ 2 0 1 6 ISSN 0388-4929 Bulletin of the Osaka Jonan Women' s Junior College,51,129-142 (2017-03-25)
6. 中津 功一郎 , 石橋 健 : 想定外の状況に対する自主防災力向上の支援のための基礎的研究,大阪城南女子短期大学研究紀要/Bulletin of the Osaka Jonan Women's Junior College,50,23-36 (2016-03-25)
7. K. Ishibashi, H. Furuta, Y. Nomura, K. Nakatsu and K. Takahashi: Application of Cellular Automaton to Combinatorial Optimization, Problem, 4th International Conference on Engineerin Optimization, ID-5721, 2014-09

〔 名前 〕 奥田 晶子

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 家政学士

〔 担当科目 〕 現代生活論、現代社会論、食品学ⅠⅡ、
食品と栄養の特性ⅠⅡ、食品の安全と衛生ⅣⅤ、
介護食論、フードスペシャリスト論、
フードコーディネーター論、商品開発・販売

〔 専門分野 〕 栄養学 食品学

〔 学外活動 〕 日本栄養士会会員
大阪府栄養士会会員
地域活動栄養士会 オリーブ会員
食生活アドバイザー会員
日本フードコーディネーター協会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

平成 16～18 年度 保健所事業 小学校・保育園食育授業 講師
平成 22 年 11 月 大阪府知事表彰受賞
(団体) 栄養改善事業功労 地域活動栄養士会オリーブとして
平成 22 年 6 月 阪南大学経済学部 大学入門演習 講師
平成 23 年 3 月 第 15 回大阪府栄養士会研究発表会
「食事バランスガイドを活用した大学生への食育演習の実施報告」
平成 23 年 11 月 四天王寺大学 食育講座 講師
平成 24、25 年度 大阪府教育センター主催 保育技術専門研修 講師
平成 26、27 年度 東住吉区地域福祉活動補助金事業 介護食講座 講師
平成 26 年 11 月 特別養護老人ホーム 玉山田荘 職員向け研修会 講師
平成 29 年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 第 52 巻
短気大学生の生活と食の現状 ー大阪城南女子短期大学生のアンケート調査よりー
平成 30 年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 第 53 巻
生活環境の変化を考慮した子どもの食育の現状と対策についての考察

- [名前] 藤原 是明
- [職位] 准教授・図書館副館長
- [保有学位] 文学修士 (図書館情報学)
- [担当科目] 図書館概論 図書館サービス概論 図書館情報資源概論
情報サービス論 情報サービス演習 (2) 図書館実習
情報資源組織論 情報資源組織演習 (1) 情報資源組
織演習 (2) 図書館制度・経営論 生涯学習概論 現
代生活卒業研究
- [専門分野] 図書館情報学
- [学外活動] 三田図書館・情報学会会員
日本図書館情報学会会員
The Chartered Institute of Library and Information
Professionals (英国) Ordinary Member
- [主な教育・研究業績]

【著書・すべて共著】

1. 坂田仰ほか. 学校図書館への招待. 第2版, 東京, 八千代出版, 2020, 223p.
2. 藤原是明ほか. 図書館情報資源概論. 京都, ミネルヴァ書房, 2018, 176p., (講座・図書館情報学, 9)
3. 坂田仰ほか. 学校図書館への招待. 東京, 八千代出版, 2017, 223p.
4. 志保田務ほか. 資料・メディア総論. 第2版, 東京, 学芸図書, 2007, 226p.
5. 志保田務ほか. 学校教育と図書館. 東京, 第一法規, 2007, 345p.
6. 山本順一ほか. レファレンスサービス演習. 改定版, 松戸, 理想社, 2005, 297p., (新図書館情報学シリーズ, 6)
7. 平井尊士, 藤原是明. 資料組織演習. 東京, 勉誠出版, 2003, 153p., (図書館情報学の基礎, 9)
8. 志保田務ほか. 資料・メディア総論. 東京, 学芸図書, 2001, 221p.
9. 伊藤収ほか. 現代の経営と秘書と事務. 学文社, 1996, 250p.
10. 尾碓眞ほか. 現代日本の産業別マーケティング. 京都, ナカニシヤ出版, 1994, 312p.

〔 名前 〕 西田 一巳

〔 職位 〕 講師

〔 保有学位 〕 製菓衛生師 技能士1級

〔 担当科目 〕 洋菓子実習

〔 専門分野 〕 洋菓子

〔 学外活動 〕 スーベル パティスリー デュ ジャポン役員

〔 主な受賞歴・研究業績 〕

- 1998、6月 カリフォルニアレーズンコンテスト、菓子部門、アイデア賞
1998、9月 第39回西日本洋菓子コンテスト、ギフトの部、会長賞
1999、9月 第40回西日本洋菓子コンテスト、マジパンBクラス、会長賞
1999、10月 カリフォルニアウオールナッツコンテスト、審査員特別賞
1999、10月 第33回大阪クリスマスケーキコンテスト、
ヴァレンタイン部門、優秀賞
2001、9月 第42回西日本洋菓子コンテスト、味と技のピエスモンテ、金賞
2002、9月 第43回西日本洋菓子コンテスト、味と技のピエスモンテ、金賞
アントルメとタルトの部、金賞
2003、11月 キリクリームチーズコンテスト、アシェット部門、金賞
2005、5月 食博覧会 大阪洋菓子コンテスト、優秀賞
2005、9月 第46回西日本洋菓子コンテスト、味と技のピエスモンテ、金賞
2006、9月 第47回日本洋菓子コンテスト、味と技のピエスモンテ、最優秀賞
2006、11月 オーストラリアマカダミアナッツコンテスト、製菓部門、金賞
2007、10月 ルクサルドグランプリオコンクール、2位
2008、9月 ルクサルドグランプリオコンクール、2位
2013、11月 なにわの名工受賞

現在、各種デモンストレーション、企業コンサルティング、商品開発など

- 〔 名前 〕 油井 宏隆
- 〔 職位 〕 教授
- 〔 保有学位 〕 修士（音楽）
- 〔 担当科目 〕 音楽Ⅰ（声楽） 弾き歌い 卒業研究 保育実践演習
保育と福祉A（城南高校）
- 〔 専門分野 〕 オペラ ミュージカル 声楽 合唱&演技指導
ミュージカル台本作家
- 〔 学外活動 〕 関西二期会正会員 川西音楽家協会会員
全国保育士養成協議会専門委員
- 〔 主な教育・研究業績 〕 2002年より1年間ミラノに留学。「フィガロの結婚」の伯爵、
フィガロ、「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、「ブルスキーノ氏」のブルスキーノ、
「ヘンゼルとグレーテル」のペーター、「アルバート・ヘリング」のシッド、「メリー・ウィドー」
のダニロ、「ラ・トラヴィアータ」のジェルモン「ほほえみの国」
のグスタフ、「愛の妙薬」のベルコーレ、「セヴィリアの理髪師」
のフィガロなどそのほかに「第九」や「マタイ受難曲」フォーレ、
モーツァルトの「レクイエム」のソリスト、ミュージカル「レ・ミゼラブル」のジャベール、
「美女と野獣」の野獣、「アニー」のウォーバックス、「エリザベート」のトートなど
に出演。2006年10月には日本演奏家連盟主催「リサイタル」兵庫県立芸術劇場にて
佐渡裕指揮「ヘンゼルとグレーテル」、「蝶々夫人」に出演。
イタリアではパヴィアのフラスキーニ劇場、マチェラータのラウロ・ロッシ劇場にて
「夕鶴」の運ず、ミラノのロゼートゥム、チルコロ・パヴィア・リリカにてコンサート
に出演する。
寝屋川市民ミュージカル「寝屋の鉢かづき」脚本作成。
第4回大阪国際コンクール声楽部門（一般の部）第1位及び宇野収賞受賞、
第2回神戸コンクール最優秀者賞、第9回摂津音楽祭奨励賞、関西二期会29期生特待生入所。
大阪市大学開放講座「幼児教育大学」講師 大阪シティカレッジにて音楽療法講座
講師 第25回大阪府民生委員後援会にて松原民生コーラス指揮 松原市民生委員会
主催音楽療法講座講師 生涯学習センター公開講座講師 全国保育士養成協

議会専門委員

〔 名前 〕 魚住 美智子

〔 職位 〕 教授

〔 保有学位 〕 体育学学士

〔 担当科目 〕 総合表現の基礎・応用
卒業研究Ⅰ・Ⅱ 保育実践演習Ⅰ・Ⅱ
身体と運動 領域指導法(環境・表現)

〔 専門分野 〕 身体表現 表現あそび あそび

〔 学外活動 〕 日本保育学会 表現運動・ダンス指導者研究会

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・保育と教育シリーズ2 幼児の身体表現 子どもと健康 共著
- ・「身体表現をたのしむあそび作品集」(かもがわ出版) 共著
- ・オペレッタ創作活動の論文Ⅰ～Ⅶ 日本保育学会発表
研究紀要執筆 共著

〔名前〕 太田 友子

〔職位〕 教授

〔保有学位〕 博士（教育学）

〔担当科目〕 保育者・教育者論 幼児理解と教育相談
教職実践演習 卒業研究Ⅱ

〔専門分野〕 教育学 教育方法学 就学前教育 算数教育

〔学外活動〕 日本保育学会会員
日本数学教育学会会員
大阪数学研究会会員
大阪府教育委員会教科用図書選定委員会委員（2001年）
大阪府公立小学校算数教育研究会会長（2011・2012）
堺市「子どもがのびる」学びの診断実施業務にかかる堺市プロポーザル方式による委託事務事業者選定委員会委員（2014～2018）
幼児教室「ハートスクエア」子育て講演講師（2014～2019）
大阪総合保育大学 非常勤講師「教育課程論」（2014～2016）
大阪府立大学 非常勤講師「教育方法学」（2020）

〔著書〕

- （1）『算数教育の実践指導』、共著、啓林館、1990年3月
〔担当箇所：算数指導展開例4年生「変わりかた」〕
- （2）『新・算数指導実例講座9』、共著、金子書房、1991年3月
〔担当箇所：§4. a、xなど文字を用いた式〕
- （3）『大阪・堺市の算数教育の歩み - 大阪学校数学教育研究会とともに - 』、共著、大阪学校数学新研究会、2014年12月
〔担当箇所：第Ⅰ部第2章第2節3、政令都市移行後の動向〕
- （4）共著「書ける！伝わる！幼稚園幼児指導要録 書き方&文例集」2018年 株式会社チャイルド本社
- （5）教科用図書 教師用指導書朱書編「しょうがく さんすう 1ねん 上」〔担当箇所：「さんすうのはじまり」〕、2020年3月、日本文教出版
- （6）教科用図書 教師用指導書研究編「小学算数1年上」〔担当箇所：「さんすうの

はじまり]」、2020年3月、日本文教出版

[学術雑誌に掲載(採択)された論文]

- (1) 「確かな図形概念を育てる指導の研究(I): 児童の図形概念に関する実態調査」、共著、査読有、『日本数学教育学会誌』、第68巻第4号、1986年4月
- (2) 「確かな図形概念を育てる研究 - 指導の適正化をねらいとした実証授業 -」、共著、査読有、『日本数学教育学会誌』、第68巻第10号、1986年10月
- (3) 「確かな図形概念を育てる研究 - 指導の適正化をねらいとした実証授業(II)」、共著、査読有、『日本数学教育学会誌』、第69巻第12号、1987年12月
- (4) 「小学校段階における空間概念を育てるための指導の研究 - 立体図形の認識と展開を中心に -」、共著、査読有、『大阪教育大学数学教育研究』、第12号、1988年1月
- (5) 「確かな図形概念を育てる指導の研究 - 指導の適正化をねらいとした実証授業(III)」、共著、査読有、『日本数学教育学会誌』、第70巻第10号、1988年10月
- (6) 「算数・数学の連続性についての研究: 文字指揮に関する一考察」、『日本数学教育学会誌』第71巻第8号、1989年8月
- (7) 「豊かな直観力と論理的思考力を高める指導の研究 - 図形指導を通して -」、共著、査読有、『日本数学教育学会誌』、第72巻第8号、1990年8月
- (8) 「自己教育力の育成をめざす算数教育 - 算数のよさを見い出し、自分を見つめることができる子 -」、単著、査読有: 堺市教育会教育論文 最優秀賞、1994年3月
- (9) 「研究事例 - 子どもの問題意識を生かして『しきつめ』」、単著、査読有、『新しい算数研究』、東洋館出版、1995年12月
- (10) 「研究事例 - たし算とひき算 -」、単著、査読有、『新しい算数研究』、東洋館出版、1996年9月
- (11) 「幼児期におけるメタ認知の芽生え(1) ~ 幼小接続期の教育に関する一考察 ~」、単著、査読無、『教育PRO』、2017年7月
- (12) 「幼児期におけるメタ認知の芽生え(2) ~ 幼小接続期の教育に関する一考察 ~」、単著、査読無、『教育PRO』、2017年10月
- (13) 「幼児期におけるメタ認知の芽生え(3) ~ 幼小接続期の教育に関する一考察 ~」、単著、査読無、『教育PRO』、2017年11月
- (14) 「幼児期におけるメタ認知の芽生え(4) ~ 幼小接続期の教育に関する一考察 ~」、単著、査読無、『教育PRO』2017年12月
- (15) 「幼児期における『振り返り』活動 - 幼小接続期におけるメタ認知に関する一考察 -」、単著、査読有、『大阪総合保育大学紀要』第12号、2018年3月
- (16) 「幼児期におけるメタ認知の芽生え - 保育者との対話による『振り返り』活動に関する考察 -」、単著、査読有、『大阪総合保育大学紀要』第13号、2019年3月

[専門学会で行った発表等]

- (1) 「文字と式 小中連携の一考察」、共著、新算数教育研究箱根セミナー、1996年12月
- (2) 「豊かな計算力の育成」、共著、日本数学教育学会、2011年8月
- (3) 第59回近畿算数・数学教育研究大阪大会 2012年11月
「考え抜く力を育む算数指導－学校研究体制の一考察－」会場校、研究発表
- (4) 「幼児期における『振り返り』活動－幼小接続期におけるメタ認知に関する一考察－」、単著、第70回日本保育学会、2017年5月
- (5) 「幼児期における『振り返り』活動の実践－幼小接続期を意識して－」、共著、第71回日本保育学会、2018年5月
- (6) 「幼児期におけるメタ認知：数量活動との関連」、単著、第65回近畿数学教育学会例会、2019年2月
- (7) 「幼児期におけるメタ認知の発達と育成－数量概念との関連－」、単著、第72回日本保育学会、2019年5月

〔 名前 〕 松浦 満夫

〔 職位 〕 教授、教務学生部次長

〔 保有学位 〕 社会福祉学士

〔 担当科目 〕 社会福祉、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ
障がいの理解 A、B
保育実習指導ⅠおよびⅢ <施設実習>
保育実習Ⅰ、保育実習Ⅲ、教育実習Ⅰ
卒業研究Ⅰ,Ⅱ(2年)、保育実践演習Ⅰ,Ⅱ(1年)

〔 専門分野 〕 社会福祉、地域福祉、障がい者福祉、
児童福祉、社会的養護
相談援助(ソーシャルワーク)
施設実習指導(施設)

〔 学外活動 〕 福井県若狭町介護保険認定審査会 委員(16年目)
福井県若狭町障害程度区分認定審査会 委員(14年目)
2015年度大阪市 利用者支援専門員研修 講師(主担)
2017年度 大阪市東住吉区子育て力アップ「キャッチ
&フォロー」事業委託事業 選考委員
2017年度 大阪府社協児童施設部会・保育士養成校
研究懇談会(幹事)継続中(4年目)
(シンポジウムの企画、話題提供、進行)

〔 主な教育・研究業績 〕 ◎分担執筆『保育における相談援助・相談支援』
(2011年 安田、立花 編 晃洋書房 p258~268)
◎分担執筆『日韓幼児教育・保育・福祉分野専門職
養成のボーダレスネットワークの形成』
(2012年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 46巻)
◎分担執筆『保育現場で役立つ相談援助・相談支援』
(2013年 立花、安田 編 晃洋書房 p259~269)
◎分担執筆『韓国における幼児教師の養成と養成校の
課題』
(2013年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 47巻 p29~37)
◎分担執筆『保育の質を高める相談援助・相談支援』
(2015年 立花、安田、波田埜 編 晃洋書房 p224~231)

- ◎分担執筆『児童家庭福祉論』
(2015年 立花、波田埜 編 ミネルヴァ書房 p 76～90)
- ◎分担執筆『施設実習を通じた学生の変化と学び』
(2015年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 49巻
p 137～154)
- ◎分担執筆『保育実践を深める相談援助・相談支援』
(2017年 立花、安田、波田埜 編 晃洋書房 p 248～256)
- ◎分担執筆『児童家庭福祉論』[第2版]
(2017年 立花、波田埜 編 ミネルヴァ書房 p 80～94)
- ◎分担執筆『(新はじめて学ぶ社会福祉) 社会福祉概論』
「第14章 ノーマライゼーションの現状と諸課題」
(2017年 立花、波田埜 編 ミネルヴァ書房 p 173～185)
- ◎分担執筆『はじめて学ぶ保育シリーズ⑪ 施設実習』
「第8,11,12章 障害児者入所施設での実習」
(2019年 立花直樹 編 ミネルヴァ書房 p 86-96,134-139)
- ◎分担執筆『保育者の協働性を高める子ども家庭支援・子育て支援』
(2019年 立花、安田、波田埜 編 晃洋書房 p 261～268)

- ◎専門職実務経験 23年間（施設長歴 9年間を含む）
10年間で、障がい者総合福祉施設2ヶ所の開設から事業運営まで、施設長として中心的に携わる。
- ◎福井県嶺南地域では初の、厚労省指定「障害児者地域療育等支援事業」「知的障害者生活支援事業」の立上げを手がけ、同地域での障がい児者、家族の相談活動と地域生活支援を展開する。
(当時では全国でも珍しい「障がい児サマースクール」を開始。障がい者ケアホームを2ヶ所開設)

〔 名前 〕 福井 敬充

〔 職位 〕 特任教授

〔 保有学位 〕 文学士

〔 担当科目 〕 英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B
教職実践演習 卒業研究 保育実践演習

〔 専門分野 〕 英語教育 学校経営

〔 学外活動 〕 通訳案内士

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・文部省「平成 3 年度高等学校英語教育指導者研修」 派遣 国立教育会館筑波分館
- ・文部省「平成 5 年度海外教育事情視察団」 渉外担当 アメリカ視察
- ・専門科目テキスト『国際理解』 執筆、編集 平成 6 年 大阪府教育委員会
- ・平成 7 年度 10 ブロック外国語指導助手中間期研修会 司会 明石市立市民会館
- ・平成 10 年度文部省委嘱『人権に関する学習プログラムとその展開』 編集
大阪府教育委員会
- ・『平成 10 年度大阪大学社会教育主事講習研究集録』 編集、執筆
- ・平成 24 年度学校経営研究発表大会「学びの環境づくり」 発表
- ・『平成 22 年度学校経営叢書 学校経営と人材育成』 執筆 大阪府教育委員会

〔 名前 〕 山田 千智

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 音楽修士

〔 担当科目 〕 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 保育実践演習Ⅰ・Ⅱ
総合表現の基礎 総合表現の応用
幼児音楽Ⅰ・Ⅱ 保育と福祉A（高大連携授業）

〔 専門分野 〕 器楽演奏（ピアノ） 音楽表現

〔 学外活動 〕 全国大学音楽教育学会

〔 主な教育・研究業績 〕 これまでに関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、大阪チェンバーオーケストラ等と共演。第40回なにわ芸術祭新進音楽家競演会にて新人奨励賞受賞。平成20年10月～平成21年9月河内長野市立文化会館ラプリーホールミュージカルスクール専属ピアニスト。平成22年4月～平成23年3月大阪芸術大学伴奏要員（フランス歌曲・日本歌曲）。0歳児OKコンサート（大阪狭山市文化会館サヤカホール）やキッズミートアート（パドマ幼稚園）等の子どもに向けたコンサートプログラムにも取り組んでいる。2年生のゼミ生で結成されたグループ「虹色アンサンブル」を率いて東住吉区を中心に音楽を通して子育て家庭を支援する活動を行っている。

ピアノ指導においては、学生の練習効果を上げる為YouTubeチャンネルを立ち上げ模範演奏をアップしている。また、LINEを用いた遠隔補習レッスンを行う。

〔 名前 〕 芝田 圭一郎

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 教育学 修士

〔 担当科目 〕 保育原理 教育課程論・保育の計画と評価
 保育内容（総論）
 保育実践演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
 保育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 教育実習Ⅰ・Ⅱ
 インターンシップⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・Ⅲ

〔 専門分野 〕 幼児教育学 保育学 保育者養成 教育・保育実習指導
 保育思想史 子ども史 子育て史

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員 日本乳幼児教育学会会員
 幼児教育史学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕 **【研究業績】**
 『江戸時代の子育て研究－往来物を中心として－』
 修士論文 関西学院大学大学院教育学研究科
 2012年3月
 『西欧人から見た日本人の子育て－戦国時代から明治時代初期に来日した外国人の手記を元に－』
 日本保育学会第65回大会発表論文集 2012年5月
 『子ども落語に関する一考察～①実習生の追跡意識調査から』
 日本乳幼児教育学会第24回大会研究発表論文集
 2014年11月
 『「遊びメディア」を通じた家庭内男性と子どもの関わり
 についてのアンケート調査とその考察』
 大阪城南女子短期大学研究紀要第50巻 2015年3月
 『幼児の「遊びメディア」分析を通じた家庭内男性の子育てへの参画分析（1）』
 全国保育士養成協議会第54回研究大会研究発表論文集

2015年9月

『家庭内男性と幼児の趣味の共有について～①アンケート調査から～』

日本乳幼児教育学会第25回大会研究発表論文集

2015年11月

『「遊びメディア」を通じた家庭内男性と子どもの関わりについてのアンケート調査とその考察』

大阪城南女子短期大学研究紀要第50巻 共著

2016年3月

『家庭内男性と子どもの「遊びメディア・乗りもの」を介した関わり』

日本保育学会第69回大会発表論文集 2016年5月

『家庭内男性と子どもの「遊びメディア・特撮ヒーロー」を介した関わり』

日本保育学会第69回大会発表論文集 2016年5月

『子ども落語を通じた変化に関する一考察』

日本乳幼児教育学会第26回大会研究発表論文集

2016年11月

『保育現場から考える子ども落語～保育者からと子どもからの視点～』

日本笑い学会学術交流支部 第2回研究会 研究発表

2017年3月

『「遊びメディア」を通じた家庭内男性と子どもの関わりについてのアンケート調査とその考察(2)～「乗り物」および「ヒーロー物」への子どもの興味の分析～』

大阪城南女子短期大学研究紀要第51巻 共著

2017年3月

『保育者養成におけるチーム制実践的演習授業について(1)』

大阪城南女子短期大学研究紀要第51巻 共著

2017年3月

『実習生の保育案作成・責任実習の状況についての調査研究－実習園の評価と学生自身の評価の比較検討－』

日本保育学会第70回大会発表論文集 2017年5月

『木製おもちゃなどを媒介にした父親と幼児の遊び観察とその子育て支援』

日本保育学会第70回大会発表論文集 2017年5月

『保育者養成におけるチーム制実践的演習授業について』

(2)』

大阪城南女子短期大学研究紀要第53巻 共著

2019年3月

【講演会】

『子育ての今昔～食育・躾・徳育～』

阪私幼北地域主催 北地域家庭教育お母さん講座

2014年11月

『フォローアップ研修～自分の保育・教育を振り返って～』

ちゃいるどネット大阪主催 新任コース

2016年11月

【著書】

『保育・教職実践演習テキストノート』

ふくろう出版 共著 2016年3月

『保育の学び ファーストステップ』

青踏社 共著 2018年3月

『教育のアイデア』

昭和堂 共著 2018年4月

〔 名前 〕 大嶋 健吾

〔 職位 〕 専任講師

〔 保有学位 〕 教育学修士

〔 担当科目 〕 保育内容（総論・環境・表現）
卒業研究Ⅰ・Ⅱ
教育実習Ⅰ・Ⅱ
保育実習Ⅰ・Ⅱ
保育実践演習Ⅰ・Ⅱ
実習指導Ⅰ・Ⅱ
インターンシップ 1A・1B

〔 専門分野 〕 幼児教育学
保育学
保育者養成
実習指導

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員
日本乳幼児教育学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕 **【研修会発表】**
教育実践記録「クラゲから始まった海の生き物への興味」2014
年 西宮市民間保育所協議会

【研究業績】
共著「保育実践を深める相談援助・相談支援～第4章低所得世
帯の児童への対応と支援力を育む事例」2017年 晃洋書房
共著「障害児の保育・福祉と特別支援教育～第5章人権擁護
と障害児」2019年ミネルバ書房
共著「保育者養成におけるチーム制実践的演習授業について
(1)」大阪城南女子短期大学研究紀要第51巻 2017年3月
単著「プロジェクト型保育における保育者のかかわり方の研
究」～プロジェクト型保育の企図とプロセスに着目して～大阪
総合保育大学大学院児童保育研究科 2018年

- 〔 名前 〕 丸目 満弓
- 〔 職位 〕 講師
- 〔 保有学位 〕 教育学博士
- 〔 担当科目 〕 保育相談支援 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論
子育て支援 子ども家庭支援の心理学
教育実習Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ
保育実習指導Ⅰ・Ⅱ
保育実践演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
- 〔 専門分野 〕 保育ソーシャルワーク 子ども支援
- 〔 学外活動 〕 日本保育学会会員 日本保育ソーシャルワーク学会会員
日本LD学会会員
日本保育ソーシャルワーク学会監事
日本保育ソーシャルワーク学会紀要委員
NPO 法人創活工房内
子育て支援ソーシャルワーク研究所 代表
- 〔 主な教育・研究業績 〕
博士學位論文「乳児保育における新たな保護者支援研究ー連絡帳をツールとしてー」

(著書)

1. 『福祉と教育の接点』 共著、晃洋書房、2014
2. 『児童家庭福祉の相談援助』 共著、建帛社、2014
3. 『現場から福祉の課題を考える～ソーシャル・キャピタルを活かした社会孤立への支援：ソーシャルワーク実践を通して～』 共著、ミネルヴァ書房、2017
4. 『保育ソーシャルワーカーのおしごとガイドブック』 共著、風鳴舎、2017
5. 『歴史との対話～現代福祉の源流を探る～』 共著、大学図書出版、2018
6. 『保育・幼児教育のフロンティア』 共著、晃洋書房、2018
7. 『改訂版保育ソーシャルワークの世界 ー理論と実践ー』 共著、晃洋書房、2018
8. 『教育と福祉の基本問題ー人間と社会の明日を展望するー』 共著、晃洋書房、2018
9. 『保育ソーシャルワークの思想と理論 (保育ソーシャルワーク学研究叢書第1巻)』 共著、晃洋書房、2018
10. 『保育ソーシャルワーク(MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉11)』 共著、ミネル

ヴァ書房、2018

11. 『保育者論(MINERVA はじめて学ぶ保育 3)』 共著、ミネルヴァ書房、2018 2019
12. 『保育者の協働性を高める子ども家庭支援・子育て支援—「子ども家庭支援論」「子ども家庭支援の心理学」「子育て支援」を学ぶ』 共著、晃洋書房、2019

(学術論文)

1. 丸目満弓(2005). 「治療場面における医療ソーシャルワーカーの関りについての一考察」. 大阪大学人間科学研究科ボランティア人間科学紀要 2005 年第 6 号. pp.15-362.
2. 丸目満弓(2006). 「医療機関における一番小さな単位の“チーム医療”についての一考察」. 湊川短期大学紀要第 42 集. pp.35-43
3. 丸目満弓(2010). 「我が国における産業ソーシャルワークの萌芽、その展望と課題」 近畿医療福祉大学紀要第 11 巻第 1 号. pp.57-68
4. 丸目満弓・立花直樹(2012) 「保育士をめざす学生のソーシャルワーク業務に関する意識および意欲についての一考察」. 兵庫大学短期大学部研究集録 No.46. pp.63-77
5. 丸目満弓・立花直樹(2013) 「地域子育て支援センターを利用する保護者が持つ育児不安に関する一考察」 兵庫大学短期大学部研究集録 No.47. pp.39-51
6. 丸目満弓(2013) 「我が国におけるスクールソーシャルワーカーの専門職性に関する一考察: A 県 B 市のスクールソーシャルワーカーへのアンケート調査より」 神戸医療福祉大学紀要 No.14. pp.95-105
7. 丸目満弓(2015) 「保護者支援の前提となる保育士と保護者間コミュニケーションに関する現状と課題 —保護者アンケートを中心として—」 大阪総合保育大学紀要 第 9 号. pp.173-194
8. 丸目満弓(2015) 「保育ソーシャルワークのツールとしての連絡帳活用の可能性について」 保育ソーシャルワーク学研究第 1 号. pp.25-40
9. 丸目満弓・黒田将史・中村有美・野田正人・吉田卓司(2016) 「配置型スクールソーシャルワーカーによる授業観察の現状と課題 ～A 県 B 市のスクールソーシャルワーカーへのアンケート調査より～」 神戸医療福祉大学紀要 No.16. pp.83-92
10. 丸目満弓(2016) 「カナダ・ブリティッシュコロンビア州 における未就学期の子育て支援について」 社会福祉士 2016 年度第 24 号. pp.61-70
11. 丸目満弓(2018) 「乳児保育における保護者支援研究—連絡帳の記述文字数及び保育士—保護者間の応答率の分析」 大阪総合保育大学紀要第 12 号. pp.73-83
12. 丸目満弓・渡辺俊太郎(2018) 「保護者支援の前提となる保育士と保護者間コミュニケーションに関する現状と課題(2) —保育士アンケートを中心として—」 保育ソーシャルワーク学研究第 4 号. pp.3-22
13. 丸目満弓・渡辺俊太郎(2019) 「カナダ・ブリティッシュコロンビア州における保育士(Early Childhood Educator)が行う保護者支援の現状」 保育ソーシャルワーク学研究第 5 号. pp.63-77

〔 名前 〕 岡田 和枝

〔 職位 〕 講師

〔 保有学位 〕 障害科学博士

〔 担当科目 〕 社会的養護Ⅱ
障害児保育B
障害の理解A・B
保育の心理学
保育実習指導Ⅰ・Ⅲ
保育実践演習Ⅰ・Ⅱ
教育実習Ⅰ
インターンシップⅠA・ⅡA
卒業研究Ⅰ・Ⅱ

〔 専門分野 〕 神経心理学、障害児教育

〔 学外活動 〕 神経心理学会会員
高次機能障害学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

<論文>

1. 「中年期社会人と大学生における記憶困難—自記式質問紙による検討—」 大阪教育大学紀要 Ser. IV, Vol. 51, No. 1, 115-122, 2002
2. 「親密度の高い仮名单語の読みが良好な Deep Dyslexia の一例」 臨床神経心理 Vol. 13, 11-16, 2002
3. 「トレット症候群の疫学に関する文献的研究：有病率と難治例患者数」 発達障害研究 34(4), 409-416, 2012

<学会発表等>

1. 「親密度の高いかな単語の読みが良好な Deep Dyslexia の一例」 第13回東北神経心理懇話会（2002年2月、仙台）
2. 「なぜ『わひまり』を『ひまわり』と読んで『わひまり』と読めないのか—Phonological Dyslexia の一例」 第26回日本失語症学会総会（2002年11月、京都）
3. 「Influence of the emotions on story recall」 第4回「言語・脳・認知」COE国際フォーラム（2004年9月、仙台）
4. 「パーキンソン病における情動を付加した物語の記憶の検討」（ポスター発表） 東

北大学 21 世紀 COE プログラム「言語・認知総合科学戦略研究教育拠点」研究成果報告会 (2007 年 2 月、仙台)

5. 「てんかんの神経心理検査」(講演) 第 46 回日本てんかん学会ポストコンgresワークショップ (2012 年 10 月、東京)

6. 「自伝的記憶が消えている側頭葉てんかんの神経心理検査」第 1 回 JEPICA 全国てんかんセンター協議会総会 (2014 年 2 月、静岡)

〔 名前 〕 柴田 精一

〔 職位 〕 専任講師

〔 保有学位 〕 美術 修士

〔 担当科目 〕 造形表現 I
総合表現の基礎
総合表現の応用
保育実践演習 I・II
卒業研究 I・II
色彩表現

〔 専門分野 〕 美術 造形表現

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

[研究業績]

- ・ デカルコマニーを用いた保育の見直し—プロットの面積や形状などから— 単著
平成 30 年 3 月 福岡こども短期大学研究紀要 第 29 号 pp.7-14
- ・ 現代の幼児教育における版画教材の変遷 単著 令和 2 年 3 月 福岡こども短期大学研究紀要 第 31 号 pp.25-34

[作品発表]

- ・ “visible and invisible” グループ展 平成 21 年 6 月 MATSUO MEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w
- ・ “1floor 2010 『質朴／技術』” 二人展 平成 22 年 8 月 神戸アートビレッジセンター
- ・ “ほんをさがして” グループ展 平成 23 年 2 月 ギャラリーほそかわ
- ・ “画廊イチオシ・ニオシはこの作家” グループ展 平成 24 年 9 月 アートホール神戸
- ・ “柴田精一展” 個展 平成 24 年 11 月 Gallery Yamaki Fine Art
- ・ “ねじれ世界をねじあける” 個展 平成 25 年 5 月 ギャラリーほそかわ
- ・ “柴田精一新作展” 個展 平成 27 年 6 月 Gallery Yamaki Fine Art
- ・ “Special Show / カット×ペースト —切り貼り—” グループ展 平成 27 年 7 月 Gallery Yamaki Fine Art
- ・ “柴田精一新作展” 個展 平成 28 年 12 月 Gallery Yamaki Fine Art
- ・ “柴田精一新作展” 個展 平成 31 年 2 月 Gallery Yamaki Fine Art

〔 名前 〕 玉川 朝子

〔 職位 〕 専任講師

〔 保有学位 〕 教育学修士

〔 担当科目 〕 乳児保育 I
保育内容（環境・表現）
卒業研究 I・II
教育実習 I・II、
保育実習 I、保育実習指導 I
保育実践演習 I・II
インターンシップ I A・II A、I B・II B

〔 専門分野 〕 保育学 幼児教育学 保育者養成 実習指導

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員 日本乳幼児教育学会会員
日本保育者養成教育学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕 2019.4～現在
社会福祉法人 千早赤坂福祉会にて同法人
4 ヲ園の保育アドバイザーとして保育者の育成、環境構成、
講習等、指導を行う。
(主な園内研修)
・ 月間指導計画の捉え方について
・ 各保育室の環境について
・ 子どもの遊び場面に対する保育者の関わりについて

(学術論文)
「2 歳児のままごと遊びにおける保育者の応答的関わりの一考察」大阪総合保育大学紀要 第 14 号 pp.43-57,2020

〔 名前 〕 前田 崇博

〔 職位 〕 人間福祉学科・専攻科福祉専攻学科長・教授

〔 保有学位 〕 博士号(社会学)
修士号(社会福祉学)

〔 担当科目 〕 社会福祉概論 社会学 介護福祉特論
介護の基本 介護総合演習 介護実習

〔 専門分野 〕 高齢者福祉論 社会福祉援助技術 地域福祉論

〔 学外活動 〕

★公的な社会福祉の委員(大阪市介護認定審査/尼崎市地域福祉計画策定部会長/複数の社会福祉法人の苦情解決委員・評議委員等)

★研究会活動(複数の研究会の主宰を務め、テキスト編纂等に取り組む)

★大学等の非常勤講師(龍谷大学等で高齢者福祉系科目を教授)

★朝日放送『おはよう朝日です』『キャスト』等の介護特集の出演 9 回

〔 主な教育・研究業績 〕

■博士論文『ケースマネジメントの理論と方法』(1996 年/佛教大学)

2000 年以降の主な著書

■『社会福祉援助技術』『対人援助技術総論』『入門介護福祉概論』『介護福祉総論』
『ケース研究 101』『やさしく学ぶ介護の知識①～③』『介護実習ハンドブック』
『社会福祉士マスタ問題集』『介護福祉士マスタ問題集』

(以上、全て編集・監修著 久美出版)

■『福祉教育論』『介護福祉エッセンシャルズ』(以上、編集著 建昴社)

■『保育士のためのソーシャルワーク』『保育士のための社会福祉』『老人福祉論』
(以上、編集著 みらい)

■『介護職員実務者研修テキスト』(監修・共著)『よくわかる社会福祉』『福祉グループワークの理論と実際』(共著 ミネルヴァ書房)『高齢者福祉辞典』(共著、中央法規)

〔 名前 〕 小林 孔

〔 職位 〕 教授

〔 保有学位 〕 文学修士

〔 担当科目 〕 ゼミナール 日本語表現 文献学入門 ほか

〔 専門分野 〕 俳諧学

〔 学外活動 〕 日本近世文学会会員
俳文学会会員 常任委員

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・『奥の細道』の展開 文学9巻2号 平成10年4月
- ・丹後地方の俳諧一枚摺 文学6巻2号 平成17年3月
- ・『捨女句集』（共著） 和泉書院 平成28年5月
- ・『続猿蓑五歌仙評釈』（共著） ひつじ書房 平成29年6月

- 〔 名前 〕 山本 永人
- 〔 職位 〕 教授
- 〔 保有学位 〕 社会福祉学修士
- 〔 担当科目 〕 人間の尊厳と自立 介護過程 1
コミュニケーション技術 障害の理解 1
障害の理解（専攻科）
社会保障論
- 〔 専門分野 〕 介護福祉士養成、知的障害者福祉
- 〔 学外活動 〕 日本介護福祉士学会会員
社会福祉士
介護支援専門員
大阪市（東住吉区）介護認定委員会 委員
社会福祉法人 若草会 社会就労センター
若草工房 理事
大阪府立大学社会福祉学内学会 理事
社会福祉法人 なにわの里 第三者評価委員
NPO法人 そよ風 理事
- 〔 主な教育・研究業績 〕
- 1 知的障害者グループホームに対する障害者自立支援法の影響（修士論文）
大阪府立大学大学院 人間社会研究科 社会福祉専攻 博士前期課程 2007
 - 2 『介護福祉士国家試験問題 問題と対策 2009 上下』共著 一橋出版 2008
 - 3 介護福祉士 WITH シリーズ 『やさしく学ぶ介護の知識』
第1巻 人間と社会 共著 久美出版 2009
 - 4 介護福祉士 WITH シリーズ 『やさしく学ぶ介護の知識』
第2巻 障害の理解 共著 久美出版 2009
 - 5 介護福祉士 WITH シリーズ 『やさしく学ぶ介護の知識』
第3巻 こころとからだのしくみ 共著 久美出版 2009
 - 6 介護福祉士 WITH シリーズ 『介護実習・介護総合演習 ハンドブック 』共編著
久美出版 2010 第2章 実習目標・実習課題
 - 7 対人関係に問題のある女子学生の支援のために
— 短期大学での学生対応の1提言 大阪城南女子短期大学 紀要 第45巻 2010
 - 8 介護実習現場と教員の連携
— 実習指導の現状と課題 大阪城南女子短期大学 紀要 第47巻 2012
 - 9 やさしく学ぶ高大連携講座 共著 久美出版 2014

- 1 0 介護過程の教育方法
 - 介護実習の事例研究表題からの考察 共著
大阪城南女子短期大学 紀要 第 49 卷 2014
- 1 1 介護職員実務者研修テキスト 共著 ミネルヴァ書房 2015
“社会の理解” “障害の理解” の項目担当 および編集委員
- 1 2 介護職員初任者研修テキスト 確認テスト 改訂第 3 版 ミネルヴァ書房 2015
“社会の理解” “障害の理解” の項目担当
- 1 3 「死」をめぐる諸問題
 - 人間福祉学科教員からの提言 共著 大阪城南女子短期大学 紀要 第 50 卷 2015
- 1 4 介護福祉士養成カリキュラムへの課題検証 共著
大阪城南女子短期大学 紀要 第 51 卷 2016
- 1 5 福祉を志す人へのバトン —ある指導員の物語 単著
カフェ・ふくろう 2018
- 1 6 高次脳機能障害者支援における共生のための手立ての研究にむけて
 - 当事者との本づくりから見えてきた研究におけるキーワードとして
大阪城南女子短期大学 紀要 第 54 卷 2020

〔 名前 〕 宮崎 恭子

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 学術修士

〔 担当科目 〕 認知症の理解・こころとからだのしくみ・発達と老化の理解・障害の理解
医療的ケア・介護総合演習・介護実習

〔 専門分野 〕 高齢者看護・介護 認知症

〔 学外活動 〕 日本介護福祉教育学会 日本認知症ケア学会
日本介護福祉学会
大阪介護福祉士養成校連絡協議会副会長
大阪市「みおつくし福祉・介護の仕事きらめき大賞選考会」座長

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・介護福祉士 WITH シリーズ「やさしく学ぶ介護の知識」3巻『こころとからだのしくみ』
“認知症の理解”の項目担当 編集委員（久美出版）
- ・介護福祉士 WITH シリーズ「やさしく学ぶ介護の知識」2巻『介護』『介護過程』の項目担当
- ・介護福祉士 WITH シリーズ「介護実習・介護総合演習ハンドブック」“介護過程”の項目担当
編集委員（久美出版）
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第44巻「介護福祉士を目指す学生の高齢者および認知症高齢者に関するイメージ形成要因の研究」
- ・第11回日本認知症ケア学会発表「介護福祉士を目指す学生の高齢者及び認知症高齢者に関するイメージ形成要因の研究」
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第47巻「介護福祉士を目指す学生の高齢者及び認知症高齢者に関するイメージ形成要因の研究2」
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第47巻「介護実習現場と教員との連携～実習指導の現状と課題」
- ・第14回に本認知症ケア学会発表「介護福祉士を目指す学生の高齢者及び認知症高齢者に関するイメージ形成要因の研究2」
- ・「やさしく学ぶ高大連携講座」“介護の基本～高齢者を理解しよう”“介護の基本～自分も大切に”“こころとからだのしくみ～認知症を理解しよう”の項目を担当（久美出版）
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第49巻「介護過程の教育方法～介護実習の事例研究表題からの考察」
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第50巻「死をめぐる諸問題～人間福祉学科教員からの提言」
- ・介護職員実務者研修テキスト“発達と老化の理解”“認知症の理解”の項目担当 編集委員（ミネルヴァ）
- ・介護職員初任者研修テキスト 確認テスト“発達と老化の理解”“認知症の理解”の項目担当
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第51巻「介護福祉士養成カリキュラムへの課題検証」
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第51巻「実習での混乱が学生を成長させる～単一の価値観から多様性を許容する価値観へ～」
- ・介護職員実務者研修テキスト・レポート論文課題 Q&A（ミネルヴァ出版）
- ・介護福祉学概論 “認知症の理解”“衣生活”の項目担当（クリエイツかもがわ）
- ・大阪城南女子短期大学研究紀要 第53巻「実習での混乱が学生を成長させる 第2報～単一の価値観から多様性を許容する価値観へ～」

〔 名前 〕 多田 鈴子

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 准学士（幼児教育学）

〔 担当科目 〕 生活支援技術 介護過程
介護実習 介護の基本
介護総合演習 人間福祉基礎

〔 専門分野 〕 介護

〔 学外活動 〕 介護福祉教育学会
育成会訪問介護員養成研修
社会福祉法人日本ヘレンケラー財団
特別養護老人ホームミネルヴァあべの
介護技術アドバイザー

〔 主な教育・研究業績 〕

- 1 介護技術演習授業の方法ー演習環境と授業展開に関する
ー考察ー
- 2 介護福祉士養成校出身者の実態調査と課題検証
ー新しい介護福祉士養成校の役割ー
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第49巻）
- 3 介護過程の教育方法
ー介護実習の事例研究表題からの考察ー
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第49巻）
- 4 やさしく学ぶ高大連携講座 共著 久美出版 2014
- 5 第21回 日本介護福祉教育学会発表 共同研究発表
「介護過程の教育方法～介護実習の事例研究表題からの考察～」
- 6 第22回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
「養成校卒業生の就業実態に関する調査研究（第1次調査）」

7 「死」をめぐる諸問題

一人間福祉学科教員からの提言―

共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 50 卷)

8 生活支援技術「排泄介護」教授法の一考察 ～実習後の記述より～

・実習での「混乱」が学生を成長させる

―単一の価値観から多様性を許容する価値観へ―

共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 51 卷)

9 第 2 3 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表

・介護実習における「できた」を疑う ―排泄介助における自己評価の試み―

・介護実習における評価―現状と課題―

1 0 第 2 4 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表

・実習への「混乱」が学生を成長させる (第 2 報)

1 1 第 2 6 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表

・実習指導における養成校と施設の連携 連携の先の「連携」

〔 名前 〕 緒方 都

〔 職位 〕 講師

〔 保有学位 〕 教養学士

〔 担当科目 〕 ころとからだのしくみ
医療的ケア 医療的ケア演習
生活支援技術 介護総合演習 介護実習

〔 専門分野 〕 生活支援技術
高齢者看護・介護

〔 学外活動 〕 日本介護福祉教育学会

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・第 23 回日本介護福祉教育学会共同研究発表
「実習での混乱が学生を成長させる 単一の価値観から多様性を許容する価値観へ」
- ・第 21 回日本介護福祉教育学会共同研究発表
「介護実習におけるできたを疑う 排泄介助における自己評価の試み」
- ・実習での「混乱」が学生を成長させる 第 2 報
—単一の価値観から多様性を許容する価値観へ—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 53 巻)
- ・生活支援技術「排泄介護」教授法の一考察
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 51 巻)
- ・実習での「混乱」が学生を成長させる
—単一の価値観から多様性を許容する価値観へ—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 51 巻)
- ・「介護職員実務者研修テキスト・レポート論文課題 Q & A」
共著 (ころとからだのしくみ項目担当) ミネルヴァ出版 2016
- ・「介護職員初任者研修テキスト 通信教育用」
共著 (ころとからだのしくみ項目担当) ミネルヴァ出版 2016
- ・「介護職員実務者研修テキスト」 共著 (ころとからだのしくみ項目担当)
ミネルヴァ出版 2015
- ・「死」をめぐる諸問題 —人間福祉学科教員からの提言—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 50 巻)
- ・やさしく学ぶ高大連携講座 共著 久美出版 2014
- ・介護過程の教育方法 —介護実習の事例研究表題からの考察—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 49 巻)
- ・介護福祉士養成教育の課題と検証
—ころとからだのしくみ・介護実践系科目における試論的考察—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 47 巻)
- ・施設における高齢者の衣生活 単著 放送大学 2003

〔 名前 〕 瀬 志保
〔 職位 〕 専任講師
〔 保有学位 〕 准学士
〔 担当科目 〕 生活支援技術、介護の基本、介護総合演習、介護過程、
認知症の理解
〔 専門分野 〕 高齢者介護
〔 学外活動 〕 日本介護福祉教育学会 会員
日本介護福祉士会 会員
認知症ケア専門士、認知症ケア学会 会員

〔 主な教育・研究業績 〕

平成 13 年 4 月から平成 23 年 5 月まで社会福祉法人城南福祉会、城南ホームにて
介護業務に従事するとともに実習指導者として介護福祉士の指導に携わる。

- 1 介護福祉士養成教育の課題と検証
— 一处处所からだのしくみ・介護実践系科目における試論的考察—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 47 卷)
- 2 介護福祉士養成校出身者の実態調査と課題検証—新しい介護福祉士養成校の役割—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 49 卷)
- 3 介護過程の教育方法 — 介護実習の事例研究表題からの考察—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 49 卷)
- 4 やさしく学ぶ高大連携講座 共著 久美出版 2014
- 5 第 21 回 日本介護福祉教育学会発表 共同研究発表
「介護過程の教育方法～介護実習の事例研究表題からの考察～」
- 6 第 22 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
「養成校卒業生の就業実態に関する調査研究 (第 1 次調査)」
- 7 第 22 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
「生活支援技術『口腔ケア』教授法の一考察 — アンケート調査から捉えた課題—」
- 8 第 23 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
日本介護協近畿ブロック会「介護創造力コンテスト」の実施から得た教育・研究成果
(1) ～各校の介護過程教育目標に基づく評価観点の確立～
- 9 第 23 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
実習での「混乱」が学生を成長させる 単一の価値観から多様性を許容する価値観へ
- 10 実習での「混乱」が学生を成長させる 単一の価値観から多様性を許容する価値観
へ 共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 51 卷)
- 11 第 25 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
実習への「混乱」が学生を成長させる 第 2 報 — 混乱と向き合う—
- 12 第 26 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表 実習における養成校と施設の連携
連携の先の「連携」
- 13 実習指導における必要な連携とは
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 54 卷)

〔 名前 〕 長橋 幸恵
〔 職位 〕 専任講師
〔 保有学位 〕 教養学士
准学士（介護福祉学）
〔 担当科目 〕 生活支援技術、介護実習、介護の基本
介護総合演習、介護過程、人間福祉基礎
〔 専門分野 〕 高齢者介護
〔 学外活動 〕
・ 日本介護福祉教育学会
・ 日本介護福祉士会
・ 日本災害食学会
・ 社会福祉法人日本ヘレンケラー財団
特別養護老人ホームミネルヴァあべの
介護技術アドバイザー
・ 大阪介護福祉士養成施設連絡協議会役員 幹事

〔 主な教育・研究業績 〕

- 1 介護福祉士養成教育の課題と検証
— 一こころとからだのしくみ・介護実践系科目における試論的考察—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第47巻）
- 2 介護福祉士養成校出身者の実態調査と課題検証
— 新しい介護福祉士養成校の役割—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第49巻）
- 3 介護過程の教育方法
— 介護実習の事例研究表題からの考察—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第49巻）
- 4 やさしく学ぶ高大連携講座 共著 久美出版 2014
- 5 第21回 日本介護福祉教育学会発表 共同研究発表
「介護過程の教育方法～介護実習の事例研究表題からの考察～」
- 6 第22回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
「養成校卒業生の就業実態に関する調査研究（第1次調査）」
- 7 「死」をめぐる諸問題—人間福祉学科教員からの提言—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第50巻）
- 8 ・生活支援技術「排泄介護」教授法の一考察 ～実習後の記述より～・実習での
「混乱」が学生を成長させる — 単一の価値観から多様性を許容する価値観へ—
共著 大阪城南女子短期大学 研究紀要（第51巻）
- 9 第23回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
・ 介護実習における「できた」を疑う — 排泄介助における自己評価の試み—
・ 介護実習における評価—現状と課題—

- 1 0 対人援助職としての防災教育の視点
—被災地から学ぶリスクマネジメントの初期プログラム—
単著 大阪城南女子短期大学 研究紀要 (第 52 卷)
- 1 1 第 24 回 日本介護福祉教育学会 共同研究発表
 - ・大阪の養成校のネットワークづくりの取り組み
—SNS を活用した介護の魅力を発信する—
 - ・実習への「混乱」が学生を成長させる (第 2 報)
- 1 2 産官学連携プロジェクト (共同研究開発について)
共著 平成 30 年大阪城南女子短期大学研究紀要 (第 53 卷)
- 1 3 実習での「混乱」が学生を成長させる 第 2 報
共著 平成 30 年大阪城南女子短期大学研究紀要 (第 53 卷)
- 1 4 対人援助職としての防災教育の発信
—被災地から学ぶリスクマネジメントの定着へ—
単著 平成 30 年大阪城南女子短期大学研究紀要 (第 53 卷)
- 1 5 第 25 回日本介護福祉教育学会 共同研究発表
実習指導における養成校と施設の連携 —連携の先の「連携」—
- 1 6 対人援助職としての防災教育の展開
—被災地から学ぶリスクマネジメントの普及—
単著 令和元年大阪城南女子短期大学研究紀要 (第 54 卷)